

イチゴ新品種 ‘堅しろう’

1 新しい品種の内容

(1) 背景・目的

本県のイチゴ栽培の主な作型である普通促成作型は、近年の夏季高温の影響で全国的に育苗中の花芽の分化が遅れ、年内出荷が不安定となっている。そこで、中国、九州地域の研究機関による西日本イチゴ育種プロジェクトにより、共同育種に取り組んだ結果、早生で連続出蕾性があり、多収で、果実品質の優れる‘堅しろう’を育成した。

(2) ‘堅しろう’の特性

- 1) 果実の形は長円錐形、果皮色は濃赤色、果肉色は淡赤色、果実内の空洞は見られない。平均果重は‘とっておき’より大きい。果実糖度は‘とっておき’と同等で、酸味は少ない。果実硬度は‘とっておき’に比べて高く、輸送性に優れる。
- 2) 第一果房の出蕾は‘とっておき’より早く、連続出蕾性も高い。6月中旬～下旬の受苗で11月中旬から収穫ができ、年内収量は‘とっておき’より多い。総収量は‘とっておき’と同等である。

2 試験成果の概要

(1) ‘堅しろう’の育成経過

早生品種‘かおり野’と多収品種‘章姫’の交配に由来する‘10133-03’と、果実品質に優れる‘とっておき’を交配した実生集団を共同育種研究機関が連携して選抜、評価し、2年間の各地域での適応性試験を経て育成した。

(2) ‘堅しろう’の特性

- 1) 果実は長円錐形(‘とっておき’は果実の底部が豊艶な円錐形)、平均果重は‘とっておき’より大きい。果皮色は濃赤色、果肉色は淡赤色、果実内の空洞は見られない(図1、図2)。
- 2) 果実硬度が高く、糖度は‘とっておき’と同等で、酸味は少ない。栽培期間を通して、糖度の低下、軟化による果実品質の低下が少ない(表1)。
- 3) 花芽分化期は9月上旬～中旬頃で、第一果房の出蕾が‘とっておき’より早く、連続出蕾性も‘とっておき’より高い。花房当たりの花数は、‘とっておき’と同程度である。
- 4) 6月中～下旬の受苗で11月中旬から収穫ができ、年内収量は‘とっておき’より多く、総収量は‘とっておき’と同程度である(表2)。
- 5) 冬季に無加温・無電照でも‘とっておき’並の草勢で、葉は立性である。
- 6) ランナーの発生数は多く、夏季高温時でも採苗に優れる。
- 7) 炭疽病には罹病性であり、無病親株の確保、定期防除が必要である。

(3) ‘堅しろう’の栽培

9月上中旬に定植、11月中旬～翌年5月下旬頃まで収穫・出荷の普通促成栽培に適する。高設、土耕のいずれでも栽培可能である。栽培管理は、‘とっておき’に準じて行う。



図1 栽培中の‘堅しろう’

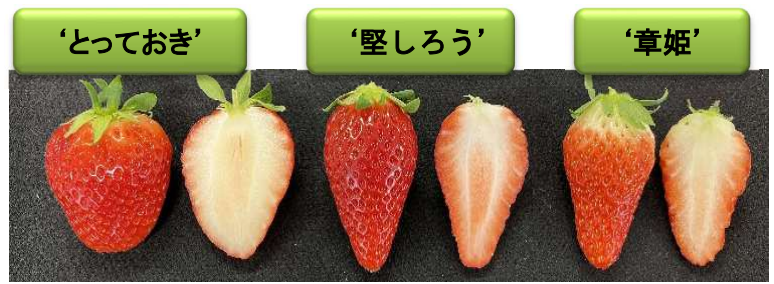


図2 果実比較

表1 果実糖度及び硬度(2024年12月～2025年4月高設栽培)

品種	糖度(Brix%)				硬度(N)			
	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月
堅しろう	11.3	11	9.3	10.7	2.08	2.16	1.60	1.65
とっておき	11.0	10.6	10.5	9.4	1.46	1.73	1.10	1.16

表2 可販収量(2024年12月～2025年4月高設栽培)

品種	年内		総収量		1果重
	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(g)
堅しろう	2.2	59.3	25.8	606.4	23.5
とっておき	1.2	33.1	27.8	574.8	20.7

表3 輸送性調査(2024年)

品種	果実の傷み		
	発生率(%)	程度	2以上率(%)
堅しろう	100	70	100
とっておき	82	36	27

注) 1パック300g、2段詰めしたものを車に積み、常温で約50kmを往復した後、傷み具合を調査した。

傷み指数: 0なし、1傷跡(果汁の滲み無)、2擦れ(果汁の滲み有)、3押し(果汁の滲み有、凹み)

発生率: (傷み指数「0なし」以外の果実数)/(全果実数)×100で算出した。

程度 = Σ (指数の総和)/(3×株数)×100で算出した。

2以上率: (傷み指数の「2擦れ」及び「3押し」の果実数)/(全果実数)×100で算出した。

3 普及の対象及び注意事項

(1) 普及の対象

国内のイチゴ農家

(2) 注意事項

- 1) ‘堅しろう’は品種登録出願中である(品種登録出願日: 令和6年2月28日)
出願公表日: 令和6年6月17日
品種登録出願番号: 第37324号
出願者: 農研機構、山口県、鳥取県、大分県
- 2) 栽培にあたっては農研機構が定める方法により利用許諾を得る必要がある。
海外への持ち出しは禁止されている。
- 3) ‘堅しろう’は炭疽病に罹病性であるため、無病親株の確保、定期防除を徹底する。

4 試験担当者

野菜研究室 研究員 荒木佑哉
井上 和
川口亜弓^{*1}
室長 谷口美保
白岩裕隆^{*2}

^{*1} 現 八頭農業改良普及所

^{*2} 現 西部農業改良普及所